

(様式4) 農作業安全に関する優良事例

都道府県名	愛媛県	区分	都道府県	実施主体名	愛媛県農地・担い手対策室
取組の概要	③ 都道府県・地域単位の推進体制の強化の取組				
実施時期	令和7年6月3日				

○ 取組の内容

令和7年6月1日に労働安全衛生規則が改正されたことを受けて、熱中症予防指導士による熱中症対策アイテムを用いた熱中症対策研修を新たに企画した。

農作業安全の指導に携わる普及員やJA関係者等に幅広く出席いただき、熱中症対策について理解を深め、実際の指導に役立つ情報共有を行った。



○ 取組の効果や今後の課題

令和7年度の熱中症に関する研修回数、受講者数共に増加した(20回増、約600名増)。研修内容についても、およそ50%の研修会で熱中症対策アイテムが活用されており、研修の効果を十分発揮できている。

今後も取り組みを継続して行く予定。(2~4スライドには当研修内容の活用について優良事例報告あり。)



(様式4) 農作業安全に関する優良事例

都道府県名	愛媛県	区分	都道府県	実施主体名	愛媛県今治支局 地域農業育成室
取組の概要	①農作業安全に関する研修の取組				
実施時期	令和7年8月27日～				

○ 取組の内容

農作業中の事故による死亡率は他産業と比較して高い傾向にあり、特に熱中症による死亡事故は年々増加傾向にある。こうした状況を受け、令和7年6月には労働安全衛生規則の改正が施行され、職場における熱中症対策の一層の強化が求められている。

そこで、管内農業生産法人代表者等を対象に、熱中症予防指導士による研修会を通して、改正規則における対策の概要や具体的な管理方法の提案、現場で有効的な対策アイテムの活用についての理解を深め、農作業中の安全管理向上を図った。



研修会の様子

○ 取組の効果や今後の課題

農業生産法人役員からは熱中症対策に向け、暑さ指数計や空調服の導入を検討する声も上がった。

熱中症予防指導士を講師として様々な農業者を対象にした実践的な農作業安全研修を継続的に行い、農作業事故の防止に取り組む。



研修会の様子

(様式4) 農作業安全に関する優良事例

都道府 県名	愛媛県	区分	J A	実施主体名	J A おちいまばり
取組の概要	①農作業安全に関する研修の取組				
実施時期	令和7年度6月～10月				

○ 取組の内容

営農経済事業部課長・センター長・店長会にて、農林水産省が発行している資料を活用して「農作業中の熱中症を予防しましょう!!」を周知して注意喚起を実施しました。

また、水田農業生産法人協議会総会にて、「熱中症予防対策」について考えるを、熱中症予防指導士（山本浩）より講習、株式会社城西よりアイテム商品等の紹介を受けて、注意喚起を実施しました。

下期には農作業安全に関する取組として「トラクター交通事故とシートベルト着用効果」を周知徹底しました。

○ 取組の効果や今後の課題

前年度同様に、会議の中で周知して注意喚起を実施いたします。

また、熱中症予防士の講習会では資料を基に、暑さ指数（WBGT）計や事例等わかりやすく説明を受けました。業者よりアイテム商品の紹介もあり、今後の対策の注意喚起ができました。

今後も早めの対策と対応ができる環境作りに取り組みます。